



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ヤプリ 上場取引所 東
 コード番号 4168 URL <https://yappli.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 庵原 保文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CoS経営管理本部長 (氏名) 山戸 一郎 TEL 03-6866-5730
 定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月12日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期の連結業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	6,056	—	882	—	877	—	920	—
2024年12月期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年12月期 920百万円（－％） 2024年12月期 ー百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	71.90	71.64	37.4	19.9	14.6
2024年12月期	—	—	—	—	—

（参考）持分法投資損益 2025年12月期 2百万円 2024年12月期 ー百万円

（注）当社は、2025年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	4,736	2,961	59.5	220.68
2024年12月期	—	—	—	—

（参考）自己資本 2025年12月期 2,819百万円 2024年12月期 ー百万円

（注）当社は、2025年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値については記載しておりません。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	776	△86	△445	2,204
2024年12月期	—	—	—	—

（注）当社は、2025年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	6.00	—	7.00	13.00	166	18.1	6.8
2026年12月期（予想）	—	7.00	—	7.00	14.00		19.2	

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	12.3	1,000	13.3	980	11.6	930	1.0	72.79

（注）当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）株式会社ヤプリフードコネクト

（注）1. 当連結会計年度において、株式会社ヤプリフードコネクトの株式を取得したため、同社を連結範囲に含めております。

2. 株式会社ヤプリフードコネクトは、2025年11月13日に公表した「株式会社チューズモンスターの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の株式会社チューズモンスターが社名変更したものです。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	12,984,800株	2024年12月期	12,971,600株
2025年12月期	209,034株	2024年12月期	124株
2025年12月期	12,803,291株	2024年12月期	12,961,745株

（参考）個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	6,056	9.9	889	61.5	882	61.0	932	24.5
2024年12月期	5,511	13.3	550	108.0	548	115.5	748	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	72.81	72.55
2024年12月期	57.75	57.58

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2025年12月期	4,682	2,955	2,955	2,188	60.4	221.50	
2024年12月期	4,067	2,188	2,188	2,188	51.8	162.58	

（参考）自己資本 2025年12月期 2,829百万円 2024年12月期 2,108百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費活動の回復やインバウンド需要の拡大等の景気回復の兆しが見られる一方で、物価上昇や円安状況の長引き、また労働人口の縮小による人件費の高騰も顕著になり、先行きが不透明な状況が継続しました。しかし、このような経済環境の中、企業はデジタル化を引き続き促進しており、IT技術を使った生産性や効率化への投資は安定して推移し、当社グループが属するソフトウェア業界の重要性はますます高まっております。

当社は、「デジタルを簡単に、社会を豊かに」というミッションのもと、ノーコード（プログラミング不要）で誰でも簡単にスマートフォンアプリの開発・運用ができるプラットフォーム「Yappli」および、AIを活用してウェブ運用を行うことができるシステム「Yappli WebX」を提供しております。

「Yappli」は、従来のアプリ開発における課題を解決し、企業が自ら効率的にアプリを運用できる仕組みを提供することで、より高い成果を生み出せるようになります。一方、「Yappli WebX」は、AIによるデザイン支援機能を備え、専門知識を必要とせずノーコードでウェブ構築を実現しております。これにより、アプリからウェブまで一貫した開発・運用・分析を行うプラットフォームを提供することが可能となり、企業のデジタル活用を強力に支援しております。

さらに、2025年11月には株式会社ヤプリフードコネクト（旧株式会社チューズモンスター）を子会社化し、LINE ミニアプリ市場へ本格参入いたしました。これにより、同社が展開する「Yappli MobileOrder」をラインナップに加えるとともに、近年著しい成長を遂げているLINE ミニアプリ市場での事業基盤を構築いたしました。これらの取り組みにより、当社グループはアプリからウェブまでのデジタル接点全体を統合管理する「デジタルエクスペリエンスプラットフォーム（Digital Experience Platform）」へと進化し、多様化する企業のデジタルニーズに対応した包括的なソリューションを提供することで、持続的な成長基盤の構築を進めております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高6,056,126千円、営業利益882,764千円、経常利益877,754千円、親会社株主に帰属する当期純利益920,605千円となりました。

なお、当社グループはアプリ運営プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は4,736,613千円となりました。主な内訳は、現金及び預金2,204,480千円、売掛金740,772千円、投資有価証券499,097千円及び繰延税金資産479,594千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,775,250千円となりました。主な内訳は、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）1,162,811千円及び未払金390,362千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,961,362千円となりました。主な内訳は、資本剰余金1,317,041千円及び利益剰余金1,593,645千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,204,480千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は776,575千円となりました。これは主に、前払費用の増加額が158,608千円及び売上債権の増加額が67,620千円あった一方で、税金等調整前当期純利益が877,480千円及び未払金の増加額が62,428千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は86,672千円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が66,443千円及び投資有価証券の取得による支出が19,890千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は445,226千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が227,796千円及び自己株式の取得による支出が150,726千円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2026年12月期において、複数のプロダクトを基盤として、様々な顧客ニーズに対応する「デジタルエクスペリエンスプラットフォーム(DXP)」構想をより一層推進してまいります。プロダクト戦略については、主力であるノーコードアプリプラットフォームの「Yappli」に加え、2025年にはWeb構築プラットフォーム「Yappli WebX」によりウェブ領域へも進出いたしました。さらなる事業拡大に向け、2026年にはLINEミニアプリ制作サービスを提供いたします。「Yappli MobileOrder」との相乗効果を図るとともに、その他の新規事業への積極的な投資を通じて、マルチプロダクト化を加速してまいります。

ソリューションについては、「Yappli for Marketing」を通して顧客体験向上のアプリを提供するマーケティング領域と、「UNITE by Yappli」を通して従業員体験向上のアプリを提供するHR領域の2軸に注力してまいります。マーケティング領域においては、企業におけるアプリの重要性が高まっていることを背景に、アプリマーケティングなどのプロフェッショナルサービスを強化し、顧客アプリのLTV向上を図り、アップセルやクロスセルを創出してまいります。

このように、複数のプロダクトとソリューション領域を抱えることが、より幅広い業界の課題解決に繋がるため、当社グループの更なる成長が期待できると考えております。売上原価、販売費及び一般管理費につきましては、主に人件費、広告宣伝費、地代家賃及びサーバ費などから構成されております。人件費や広告宣伝費などプラットフォームの価値を高める成長投資は2022年度に一巡しており、以降は投資効率を重視した成長フェーズへ移行しております。2026年12月期については、売上高と利益の成長を両立するバランス型の成長を目指し、人件費24億円程度、広告宣伝費7億円程度の投資を計画しております。

以上の結果、当社グループの2026年12月期の通期連結業績予想は、売上高6,800百万円、営業利益1,000百万円、経常利益980百万円、親会社株主に帰属する当期純利益930百万円を見込んでおり、前連結会計年度の売上高6,056百万円、営業利益882百万円、経常利益877百万円、親会社株主に帰属する当期純利益920百万円から増加する予定でおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,204,480
売掛金	740,772
仕掛品	35,792
前払費用	307,227
その他	1,133
貸倒引当金	△5,595
流動資産合計	3,283,811
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	172,756
減価償却累計額	△75,117
建物及び構築物(純額)	97,639
車両運搬具	2,500
減価償却累計額	-
車両運搬具(純額)	2,500
工具、器具及び備品	71,390
減価償却累計額	△68,215
工具、器具及び備品(純額)	3,175
有形固定資産合計	103,315
無形固定資産	
のれん	113,136
無形固定資産合計	113,136
投資その他の資産	
投資有価証券	499,097
繰延税金資産	479,594
その他	257,656
投資その他の資産合計	1,236,348
固定資産合計	1,452,801
資産合計	4,736,613

(単位：千円)

当連結会計年度 (2025年12月31日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	32,394
1年内返済予定の長期借入金	232,224
未払金	390,362
未払法人税等	5,883
契約負債	36,186
その他	144,724
流動負債合計	841,776
固定負債	
長期借入金	930,587
繰延税金負債	2,886
固定負債合計	933,473
負債合計	1,775,250
純資産の部	
株主資本	
資本金	58,886
資本剰余金	1,317,041
利益剰余金	1,593,645
自己株式	△150,244
株主資本合計	2,819,327
新株予約権	125,914
非支配株主持分	16,120
純資産合計	2,961,362
負債純資産合計	4,736,613

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,056,126
売上原価	2,029,841
売上総利益	4,026,285
販売費及び一般管理費	3,143,520
営業利益	882,764
営業外収益	
受取利息	2,392
受取手数料	1,333
協賛金収入	3,000
受取和解金	1,525
持分法による投資利益	2,504
その他	299
営業外収益合計	11,055
営業外費用	
支払利息	12,984
支払手数料	2,248
その他	833
営業外費用合計	16,065
経常利益	877,754
特別利益	
新株予約権戻入益	456
特別利益合計	456
特別損失	
持分変動損失	729
特別損失合計	729
税金等調整前当期純利益	877,480
法人税、住民税及び事業税	6,671
法人税等調整額	△49,795
法人税等合計	△43,124
当期純利益	920,605
親会社株主に帰属する当期純利益	920,605

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	920,605
包括利益	920,605
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	920,605

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	51,252	1,309,407	749,617	△267	2,110,009	79,519	—	2,189,529
当期変動額								
新株予約権の行使	7,633	7,633			15,267			15,267
剰余金の配当			△76,577		△76,577			△76,577
親会社株主に帰属する当期 純利益			920,605		920,605			920,605
自己株式の取得				△149,977	△149,977			△149,977
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)						46,394	16,120	62,515
当期変動額合計	7,633	7,633	844,027	△149,977	709,317	46,394	16,120	771,833
当期末残高	58,886	1,317,041	1,593,645	△150,244	2,819,327	125,914	16,120	2,961,362

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	877,480
減価償却費	15,990
株式報酬費用	52,461
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,996
受取利息	△2,392
支払利息	12,984
持分法による投資損益(△は益)	△2,504
持分変動損益(△は益)	729
協賛金収入	△3,000
受取和解金	△1,525
新株予約権戻入益	△456
売上債権の増減額(△は増加)	△67,620
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,101
前払費用の増減額(△は増加)	△158,608
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△712
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,927
未払金の増減額(△は減少)	62,428
契約負債の増減額(△は減少)	8,327
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,023
その他	7,303
小計	777,881
利息の受取額	2,392
利息の支払額	△12,982
協賛金の受取額	3,000
和解金の受取額	1,525
法人税等の還付額	4,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	776,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△581
投資有価証券の取得による支出	△19,890
敷金及び保証金の回収による収入	802
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△66,443
その他	△560
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△227,796
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,656
自己株式の取得による支出	△150,726
配当金の支払額	△76,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	244,676
現金及び現金同等物の期首残高	1,959,803
現金及び現金同等物の期末残高	2,204,480

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、アプリ運営プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	220.68円
1株当たり当期純利益	71.90円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	71.64円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	920,605
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	920,605
普通株式の期中平均株式数(株)	12,803,291
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	46,934
(うち新株予約権(株))	(46,934)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権5種類 (新株予約権の数3,945個 普通株式 519,500株)

(重要な後発事象の注記)

(譲渡制限付株式報酬制度の導入)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入に関する議案を2026年3月27日開催予定の第13回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

詳細につきましては、2026年2月13日に公表しました「譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ」をご参照ください。